

平成25年度 特定設備事故届出状況（エレベーター）

平成25年度 特定設備事故届出状況（エレベーター）

番号	事故発生日	事故の分類	事故状況	建物用途	被害者の年齢層	人数	症状	被害程度	再発防止対策の状況
1	3/28	扉に巻き込まれた	幼児がエレベーターの扉に手を触れて待っていたところ、扉が開く時に手が巻き込まれた。	百貨店	5歳以下	1	人差指・中指・薬指擦過傷	入院不要	従来より事故対策を講じている。（注意喚起掲示）
2	4/25	機械的トラブルなど	エレベーターのリニューアル工事の際にドアロック機構の動作音軽減のためゴム製消音材を設置したところ、約2か月後、消音材が劣化・粘着し、ドアの開閉不良により閉じ込められた。	その他	65歳以上	1	なし	入院不要	消音材を撤去した。
3	6/1	機械的トラブルなど	エレベーターが3階から1階に向けて下降する際、減速が行われずそのまま1階停止位置を通過した。その後リミットスイッチ（本来の停止位置を過ぎた際にブレーキを作動させるスイッチ）によりブレーキがかかったが、止まり切らず、かこのガイドがレール下端に衝突した。	販売店	20～64歳	1	首・腰捻挫	不明	緩衝器はねの高さが不適切に低かったために、かこが緩衝器に衝突せずレール下端に衝突したため、緩衝器の高さを是正した。通常の回路の動作によって正常に減速が行われなかった際にも減速するように、バックアップ回路を追加した。ファイナルリミットスイッチが作動した際に、確実に動力が遮断されるように、回路を追加した。
4	6/12	扉に巻き込まれた	祖母に抱かれた幼児がエレベーターを待っている際、扉に手を触れていたため、扉が開く時に親指が巻き込まれかけた。	マーケット	5歳以下	1	指打撲	入院不要	直ちにエレベーターの点検を行った。（異常なし） 注意喚起の館内放送・掲示を追加
5	7/2	閉じ込め	エレベーターで降りようとしたところ、乗車階から少し下降したところで緊急停止し、約30分間閉じ込められた。負傷者が持っていたカバンとゴミ袋が扉に挟まり、取り出そうとしたときに施錠スイッチが外れたため緊急停止したものと推測される。	共同住宅	6～12歳	1	PTSD（嘔吐など）	入院不要	今回の事故を受けて特に対策を講じることはない。
6	7/9	扉に挟まれた	閉まる扉に幼児が指を挟んだ。	マーケット	5歳以下	1	なし	入院不要	注意喚起掲示の追加を検討
7	8/31	扉に巻き込まれた	エレベーターに乗り、扉に手をついていた所、扉が開く時に手が巻き込まれた。	複合施設	5歳以下	1	手首骨折	入院不要	子供の目線の高さに更なる注意喚起掲示
8	9/4	扉に巻き込まれた	幼児がエレベーターの扉に手を触れて待っていたところ、扉が開く時に手が巻き込まれた。	マーケット	5歳以下	1	指打撲	入院不要	エレベーターの点検を行った。 注意喚起掲示を追加
9	9/10	扉に巻き込まれた	幼児がエレベーターの扉に手をかけて乗っていたところ、扉が開く時に手が巻き込まれた。	販売店	5歳以下	1	なし	入院不要	従来より事故対策を講じている。（注意喚起掲示）
10	9/13	閉じ込め	接点不良により、巻上機の出力不足となったために、利用中に停止し、閉じ込められた。	共同住宅	20～64歳	1	軽度脱水症状	入院不要	故障部品の取替
11	9/15	扉に巻き込まれた	幼児がエレベーターの扉に手を触れて乗っていたところ、扉が開く時に手が巻き込まれた。	マーケット	5歳以下	1	指打撲	入院不要	今回の事故を受けて特に対策を講じることはない。
12	9/16	扉に巻き込まれた	幼児がエレベーターの扉に手を触れて待っていたところ、扉が開く時に手が巻き込まれた。	百貨店	5歳以下	1	指打撲	入院不要	今回の事故を受けて特に対策を講じることはない。
13	10/29	機械的トラブルなど	エレベーターから降りる際、フロアとかごに段差が生じており、躓いて転倒した。	百貨店	65歳以上	1	右ひざ上打撲	入院不要	乗用エレベーター全号機のセーフティーシューケーブルの取付け状況の点検
14	11/12	その他・不明	エレベーターの扉にもたれて乗っていたところ、開扉に気づかず転倒した。	駅舎	20～64歳	1	後頭部打撲	入院不要	今回の事故を受けて特に対策を講じることはない。
15	12/5	扉に巻き込まれた	幼児がエレベーターの扉に手を触れて乗っていたところ、扉が開く時に手が巻き込まれた。	マーケット	5歳以下	1	指の腫れ	入院不要	従来より事故対策を講じている。（注意喚起掲示）